



National Hospital Organization  
Kokura Medical Center

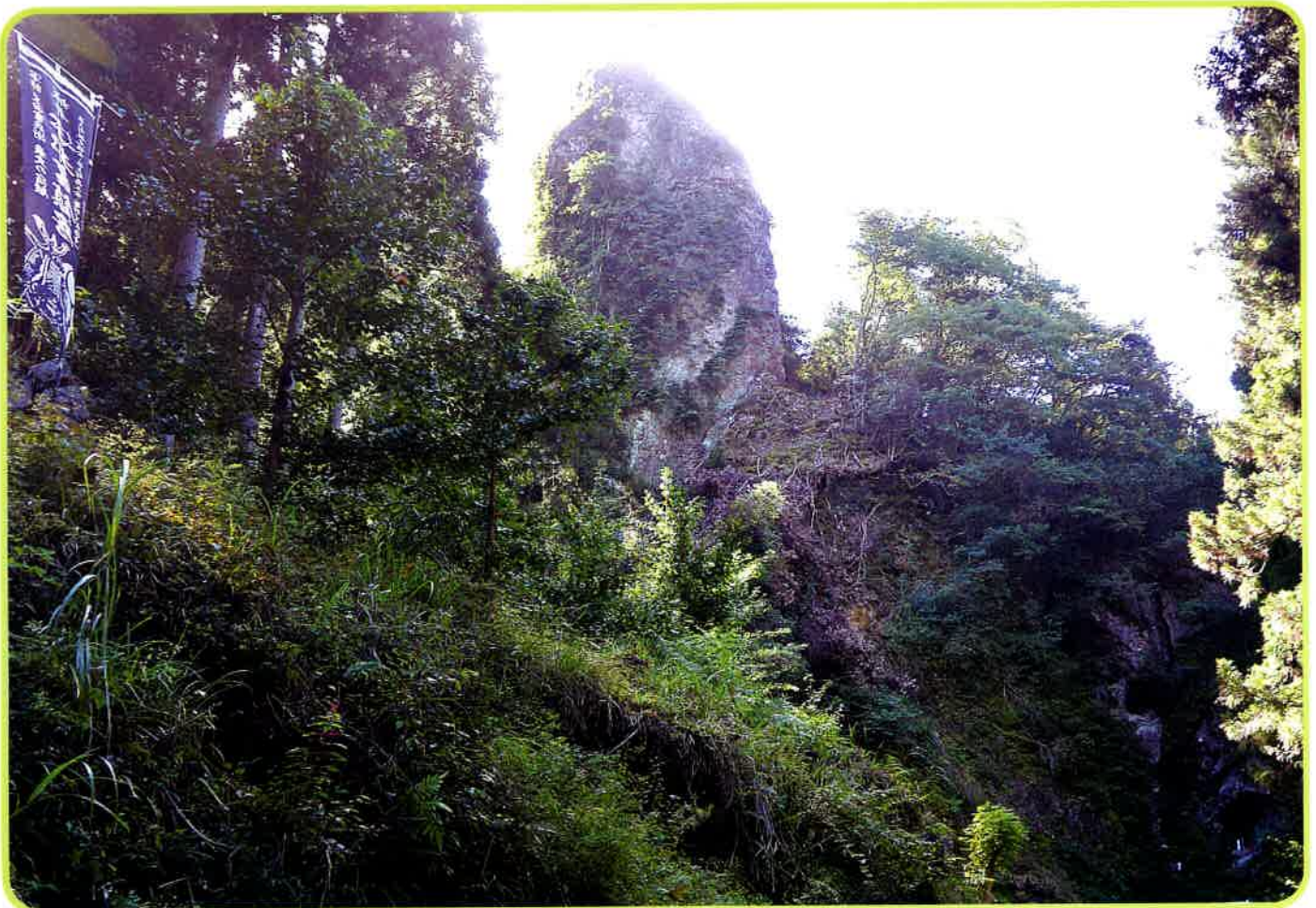
かもめ  
**鷗**

2014年  
秋号

contents

第22回西日本肥満研究会を開催して .....	2
留学体験記 .....	4
初めての夏祭り .....	5
緩和ケア研修会開催 .....	6
新任医師紹介・連携室だより .....	7
外来診療担当表 .....	8

この街にはこの病院があるから  
住みたいと思われるような  
病院になりたい。  
これが私たちのテーマです。



三丁弓の岩 (築上町寒田)





## 第22回 *Western Japan Society for the Study on Obesity* 西日本肥満研究会を開催して

国立病院機構小倉医療センター院長 岡嶋 泰一郎

今夏、平成26年7月26日(土)、27日(日)の両日、福岡市の九州大学医学部百年講堂におきまして、第22回西日本肥満研究会を会長として主催させていただきました。当研究会は、九州、四国、中国地方を中心に、肥満の診療、研究に携わる医師、看護師、栄養士、薬剤師、リハビリ療法士、それに行政関係の方々などが広く参加し、肥満・肥満症を中心とした演題発表を行い、活発なディスカッションを行うことで日常臨床に役立てることを目的としたものです。毎年夏に西日本の各地で開催されます。

今回は、一般演題33題の他に、特別講演2、教育講演1、イブニングセミナー1、ランチョンセミナー1も組み入れ、盛りだくさんの内容となりました。また、2日目の午後には、第2回肥満症治療講習会が開催され、日頃の診療に役立つ講演の後、会場を巻き込んだ熱心な討論が行われました。



# 第22回 西日本肥満研究会

会期 平成26年7月26日(土)・27日(日)





## 吉松教授のメモリアルレクチャー

今回の研究会では、当会の代表世話人としてお世話をいただいた故吉松博信大分大学医学部教授のメモリアルレクチャーとして特別講演を組ませていただきました。吉松教授と私は、ともに九州大学の第1生理学教室に在籍した関係で親しくしていたこともあって、この会でぜひメモリアルレクチャーを組み、彼の業績や人柄を今一度偲ぶ機会を持ちたいと思っておりました。生理学教室での研究仲間である九州工業大学教授の粟生修司教授が、吉松先生の思い出をおり混ぜながら、脳による食欲調節のお話をわかりやすく語ってくれ、とても感動的な講演となりました。会場には吉松教授のご親族も来て下さり、ともに在りし日の姿を偲ぶことができました。研究会は盛況のうちに2日間の日程を終えました。当院の職員の方々にたくさん出張っていただき、まさに病院を挙げての会となりました。ご協力いただきました職員の方々に心から御礼を申し上げます。研究会に参加した世話人の方々から、職員の方々のホスピタリティが大変素晴らしかったとお誉の言葉を多々いただきました。本当にありがとうございました。



## 思わぬ波紋!? 鷗外のポスター

さて、今回の研究会のポスターが、思わぬ波紋を呼びました。当院の前身である小倉衛成病院には、当時小倉に赴任中の森鷗外がたびたび訪れており、当院は鷗外ゆかりの病院として知られています。そこで今回のポスターに鷗外の写真を入れました。これを見られた福岡市のある医師から、ポスターを1枚譲ってほしいと言われ、親しくしている鷗外のひ孫にあたる千葉大学医学部教授の森千里先生にお送りしたいとのことでした。喜んでポスターを差し上げました。その後、北九州の「鷗外を偲ぶ会」が主催した森千里先生の講演が小倉で開催され、そこで森先生と親しく言葉を交わすことができました。鷗外の写真は当日配布しましたプログラム、抄録集にも使用させていただきました。

研究会の開催にご尽力いただいた皆様方、また講演や演題発表を賜った方々に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。



**第22回西日本肥満研究会**  
Western Japan Society for the Study on Obesity

会期 平成26年 7月26日(土)・27日(日)  
会場 九州大学医学部百年講堂(福岡市)  
九州大学医学部 1-1-1 1F 11-222547  
会長 岡嶋 義一 福岡大学医学部 小倉医療センター 院長

<http://www.kokura-hp.jp/himan/index.html>

肥満研究部  
〒730-0041 福岡市中央区大正1-8-25  
TEL 092 401 5752  
FAX 092 4486 2982  
e-mail: 22jss@kenmodaiz.com





## episode 1 国立病院機構本部での適正試験

平成26年6月から7月末にかけて約2ヶ月間、国立病院機構の主催する専修医海外留学制度に参加させていただきました。その名の通り専修医を対象としたプログラムですが応募資格は専修医以外にも開かれており私は運良く選考され参加することができました。選考にあたっては東京の国立病院機構本部まで出向き適正試験が行われました。その内容とは、テーマを与えられそれに沿って候補者同士で英語でディスカッションを行うというものでした。普段英会話をする機会のない私にとって非常にハードルの高いものであったのは言うまでもありません。さらにそのテーマとは、「日本の医療制度について」という感じの日本語でのディスカッションも難しいような内容。。。ともあれ選ばれてこれから英会話の勉強でもするかと考えながらまた小倉での日々の業務をこなしていると、気付いてみればもう5月でした。慌てて英会話教室なんかに行きましたが1ヶ月で話せるようになるわけがなく、とりあえず英語を話す度胸だけを身につけて渡米しました。

## episode 2 自由で活発な研修環境

研修先の病院はカリフォルニア州ロサンゼルスにあるVA Greater Los Angeles Healthcare System(以下VA)という施設でした。インターネットで検索してもそこがどういった病院なのか全くわかりませんでしたし、果たして病院なのか(ほんとです、笑)という不安さえありました。実際には退役軍人を対象とした立派な病院でしたが。眼科医のプログラム参加は初めてだったようで明確な研修スケジュールはありません

んでした。よく言うと自由でした。したがって毎日自分から気になるドクターをつかまえ、外来につかせてくれるようお願いして診療の見学を行いました。VAでの診療は主にレジデントが担っており、診断や治療に苦慮した際に上級医にコンサルトを行うという流れでした。朝は8時頃から外来が始まり、外来が終わるのは17時頃です。その間に診察する患者の数はおよそ15人程度(少ない!)。外来以外では自分の気が向いたときに自由に手術を見学しました。真新しい環境でしたので飽きなかったですが、一日中飛び交う英語と(当然)、慣れない生活で最初の2週間はかなりグッタリしていました。

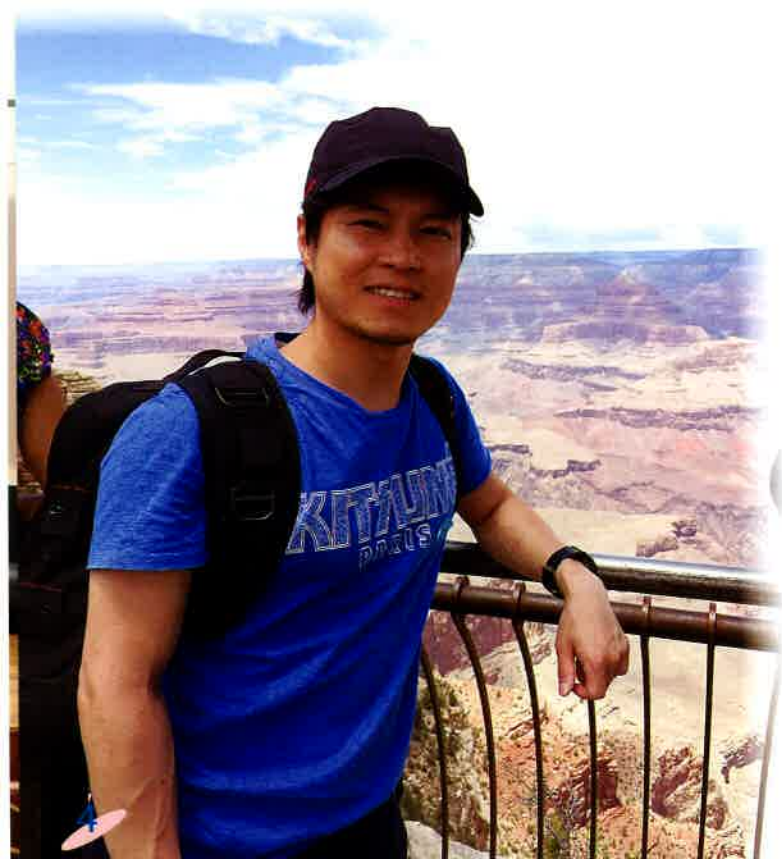
アメリカのレジデントは当然診療技術は未熟な部分も多いですが、非常によく勉強しています。勉強会でも積極的に発言し活発なディスカッションが行われます。手術も見学させていただきましたが、執刀もやはりレジデントやフェローが行っていました。VAではまれな疾患や病状の進んだ患者さんはおらず正直物足りなさを感じていたため、1ヵ月が経った頃からUCLAやprivate clinicにも外来や手術見学に行く許可をいただきました。UCLAではベテランの術者による非常に面白い手術をたくさん見学することができました。

## episode 3 アメリカの細分化された専門医療

アメリカでは同じ診療科の中でも細分化された専門が重視され、眼科で言えば、白内障は白内障専門ドクターが、緑内障は緑内障専門ドクターが行うというようにお互いの専門を侵さず連携し合って手術が進められます。したがって1つの手術中にいろんなドクターが入れ替わり立ち替わり手術をすることがあります。私が自分の病院では白内障から緑内障、硝子体手術などいろんな手術をすると話すと非常に驚いていました。また、private clinicでは外来と手術の両方を見せていただきました。知り合いのハーバード大学のドクターから紹介していただいた手術の上手な硝子体専門のドクターで、VAやUCLAとは違った開業医の診療というものも経験できていい勉強になりました。

## episode 4 快適な住居生活

生活においては、プログラム専属のコーディネーターがいて病院でのたくさんの煩雑な手続きや私生活においてもよく面倒を見ていただいたので不安も少なかったです。住居はプログラム用に借り上げたアパートがあり、家具やテレビ、プリンター、Wi-Fiなど生活に必要なものははじめから備え付けてありましたので後は食料などを買い揃えるだけでしたのずいぶん楽でした。私は滞在した2ヶ月間ずっとレンタカーを借りていたのですが、その車で日系スーパーに行けばほとんど日本と同じものが購入できました。また、アパートの敷地にはプールが2つとフィットネスが1つあったので時々体を動かすこともでき、アメリカの食事でも太ることがなかったのがよ



かったです。アパートの立地は治安がいい場所で、サンタモ  
 ニカのビーチまで車で20分、ビバリーヒルズも30分程度で  
 行けるという恵まれた場所でした。週末は当然お休みでした  
 ので色々なところに出かけることができました。挙げるときり  
 がないくらいたくさん行ったのですが、主なところではヨセミ  
 テ国立公園、セコイア国立公園、グランドキャニオン、ラスベ  
 ガス、サンディエゴ(動物園と水族館)、サンフランシスコ、  
 ディズニーランド、ハリウッドなどです。遠いところでは車を8  
 時間くらい運転して行きました。



生活を送りましたし(満喫!!)、これからの診療に対する活力  
 も蓄えました。これを書いている今は帰国してちょうど2ヶ月が  
 経過しましたが、手術件数も前にも増してがんばっています。  
 このプログラムに参加する意義はとても大きいです。是非、許  
 す限り他の先生にも積極的に参加していただきたいと思いま  
 す。この文章を読んで参加したいと思ってくださる先生がいる  
 と幸いです。

## episode 5 送り出されていた先生方に感謝

今回この留学プログラムに参加させていただきアメリカの  
 医療や生活、文化を身をもって体験することができたへん  
 貴重な時間を過ごすことができました。これからの私の人生  
 においても大きな意味をもつと思います。病院を不在にして  
 いる間にたくさんの方にご迷惑をおかけしたと思いますが、参  
 加の許可をくださった岡嶋院長を始め、赴任早々医長不在  
 の眼科を支えてくれた鍋島先生、その他スタッフの方々には  
 たいへん感謝しています。ご迷惑をかけた分全力でアメリカ

## TOPICS

笑顔いっぱい咲く

## 初めての夏祭りを開催しました☆

保育士 柴田 優子

7月31日(木)、こども医療センターで初めての夏祭りを行いました。

5年前より毎月1回、こども医療センターでは行事を開催していますが、夏祭りは今回が初めての  
 試み。看護師・保育士が中心になり2か月前より、病棟全体で飾りやお店の準備をしました。

入院が長くて初めて夏祭りに参加する子、本当は入院していなかったら地域や園の夏祭りに参加  
 する予定だった子、いろいろな思いの中、夏祭りを開催しました。

前日から病棟は少しずつ夏祭りの雰囲気…夏祭りの準備をしていると興味津々の子どもたち！



## マジックにすいか割り…多彩な催し

当日は薬剤師さんによるマジックや、先生たちのくまモンにノリノリの子どもたち!初めて見る大きなすかにびっくりし  
 ていました。出し物の後は、看護師さんお手製のチケットを持って、いろいろなお店を回りました。栄養科よりおやつを提供  
 していただいたお店も登場しました。いつもと違う雰囲気の医師・看護師に加え、いつもは子どもたちを陰で支えてくれ  
 ている薬剤師・MSW・クラーク・院内学級の先生がお店で待っていて、たくさんの方々に参加していただき、最後は練習し  
 たアンパンマン音頭をみんなで踊りました。お部屋から出られない子どもたちには、夏祭り後に「出張夏祭り」としてお部  
 屋でくじやゲーム・お面をつけて写真撮影を行いました。

「楽しかった。」「毎月夏祭りがあったらいいな～」との素敵な声がきかれたと共に、みなさんにご協力いただき、子ども  
 たちや家族、そしてスタッフの笑顔がいっぱい咲いた夏祭りでした。







## がん拠点病院を目指して 緩和ケア研修会開催

消化器病センター・地域医療連携部長 堤 宣翁

平成26年7月26・27日(土・日)の2日間、当院鳴大ホールにおいて「第2回小倉医療センター がん診療に携わる医師のための緩和ケア研修会」を開催しました。本研修会は、がん拠点病院または拠点病院を目指す病院に毎年開催が義務づけられており、当院もがん拠点病院を目指すべく昨年より開催しております。

今年度は院外医師5名、院外看護師1名、院内医師7名、院内看護師・薬剤師各1名の15名を受講者として迎え、福岡県単位型研修会プログラムに準じて合計16時間の研修を行いました。緩和ケアに関する講義・ワークショップ・ロールプレイなどタイトなスケジュールにも関わらず、最後まで熱心に研修に参加していただき、受講者全員に修了証を授与することができました。

### 院外からも多数の協力

本研修会の開催につきまして、院外ファシリテーターとして製鉄記念八幡病院緩和ケア科今村秀先生・小倉南区開業の岩本クリニック岩本拓也先生にご協力をいただきました。地域連携のセッションでは小倉医師会訪問看護ステーションの加藤ひとみさん、はんずあい小倉の高橋貴子さんに参加していただき地域全体で支えていく緩和医療についてのグループワークを行い、昨年よりもさらに充実したディスカッションとなりました。院内からは4名の医師ファシリテーター、看護師・事務・薬剤師など多数のスタッフの協力により、スムーズな研修会運営を行うことが出来ました。

### 知識・スキルの研鑽に有用な場として

本研修会は「がん診療に携わるすべての医師が受講すること」を目標として、厚生労働省・日本緩和医療学会の指導のもとで開催しており、緩和ケアに必要な知識・スキルを研鑽する場として非常に有用な研修会となっています。また、本研修会を修了することで外来麻薬処方についての加算も算定出来るようになります。来年度も7月25・26日に本研修会を企画しておりますので、一人でも多くの方に参加していただきますようお願いいたします。

# 新任医師のご紹介



かわむら きょうこ  
河村 京子

**専門** 産婦人科

**趣味** 旅行

**抱負**

熊本大学を卒業後、熊本県内で産婦人科に勤務、その後愛知県にある藤田保健衛生大学に5年間勤務し、今回、主人の転勤に伴い9月より当院に勤務させていただくことになりました。二児(8歳、3歳)の母親でもあり、下の子は院内の保育園でお世話になっています。技術的にはまだまだですが、婦人科悪性腫瘍を専門にやってきました。産婦人科に意を決して受診される患者さんに手を差し伸べることができればと思っております。よろしくお願いいたします。

## 地域医療連携室だより

### 小倉医療センター

### 第20回 春ヶ丘会(糖尿病患者会)を開催

平成16年より、外来糖尿病患者様の糖尿病療養をサポートする患者間の交流を目的とした糖尿病患者会「春ヶ丘会」を運営しています。

今年も8月30日(土)に第20回春ヶ丘会総会を実施しました。今回は、患者様と病院職員あわせて45名の参加があり、内容は澄井副院長による講演『糖尿病とがん』と各専門職種による『糖尿病療養相談会』を開催しました。

お薬相談や医師相談コーナーでは、日頃なかなか尋ねることができないことをゆっくりと対応していただき、患者様からも好評でした。

また、お昼はAIM2階のカフェランチで昼食でした。1日の摂取カロリーの目安をもとに各自がライスやポテトを残して食べることで、エネルギーの調整を学び、さらに血糖上昇を緩やかにするポイントとして、野菜を良く噛んで先に食べることで、これは食後の血糖上昇をおさえるとともに満腹感にもつながっていることを体験を通して理解することができました。

最後に岡嶋院長先生作詞の「血糖を下げよう」の歌に合わせて、食後の血糖を下げるための効果的な運動を理学療法士の馬場さんより指導していただきながら実施しました。



#### カフェランチメニュー

641  
Kcal

- ライス(200g)
- チキンと豆腐の照り焼きハンバーグ
- 付け合せ(ポテト・ゆで野菜)
- 野菜たっぷりサラダ
- 色々野菜の入った和風だしのスープ
- ドリンク

## 診療案内

受付時間: 午前 8:30~11:00

(急患については、このかぎりではありません。)

手術日は診療を行っていない科があります。

◆診療に関してのお問い合わせは、地域医療連携室をご利用下さい◆

TEL 093-921-8881(代表)

FAX 093-921-8892(地域医療連携室)

#### 前方連携

- ご紹介患者様の受付(事前受付)
- 紹介患者様の報告(受診・入院・退院)
- セカンドオピニオン相談窓口
- 逆紹介推進業務
- かかりつけ医への病状照会 など

#### 後方連携

- 退院・転院支援
- 在宅医療に関する支援
- 在宅環境調整
- 各福祉制度に関する相談と支援
- 患者様の心理的支援 など

#### 医療連携室/医療福祉相談室 スタッフ

- 堤 宣翁 (地域医療連携部長・消化器病センター部長)
- 佐藤 丈顕 (地域医療連携室長・肝臓病センター部長)
- 野口 貴子 (地域医療連携副室長・看護師長)
- 上脇田 勝教 (地域医療連携係長・経営企画係長)
- 猪尾 希文世 (MSW・PSW)
- 井上 紘治 (MSW・PSW)
- 能間 陽子 (MSW・PSW)
- 玉野 麻由加 (がん相談支援センターがん専門相談員・看護師)
- 栗山 美佳 (PSW)
- 泉 洋子 (事務)
- 江口 陽子 (事務)
- 垂水 明子 (事務)





## 小倉医療センター 外来診療担当表

[平成26年10月1日現在]

診療科	月	火	水	木	金	備考
内科一般(新患)【内線208】	渡邊 哲博	田中奈津子	正月 泰士	南 沙希	北島 慶子	
肝臓内科 【内線208】	佐藤 丈頭	佐藤 丈頭	佐藤 丈頭 山下 晋作	山下 晋作 正月 泰士	山下 晋作 正月 泰士	
血液・感染症内科 【内線208】	武藤 敏孝	高月 浩	武藤 敏孝	高月 浩		
糖尿病・内分泌代謝内科 【内線264】	足立 雅広 田中奈津子 北島 慶子	岡嶋 泰一郎 足立 雅広 渡邊 哲博	澄井 俊彦 田中奈津子 渡邊 哲博	岡嶋 泰一郎 足立 雅広 北島 慶子	足立 雅広 南渡邊 哲博	
甲状腺内科 【内線264】		渡邊 哲博	渡邊 哲博		渡邊 哲博	
呼吸器内科 【内線208】	日高 孝子	坂本 篤彦		木下 義晃		
循環器内科 【内線202】	高山 成政	鈴木 哲	高山 成政	鈴木 哲	◆	◆他院より派遣医師
消化器内科 【内線205】	澄井 俊彦 山口 裕也 ◎山口裕也(午後)	山縣 元彦 末永 文彦	山口 裕也 寺松 克人 ◎山口裕也(午後)	山縣 元彦 末永 文彦	山口 裕也 寺松 克人 ◎山口裕也(午後)	◎隣外来(午後予約のみ)
外科一般 消化器外科 【内線205】	※堤 宣翁 森松 克哉	※品川 裕治 豊福 篤志 田邊 麗子	※廣吉 元正 倉田 加奈子 ◇轟木 秀一	※空閑 啓高	※轟木 秀一 永松 伊織 ◇廣吉 元正	※印 新患担当 ◇印 予約再来のみ
呼吸器外科 【内線205】				田村 和貴 生田 安司		
乳腺外科 【内線205】					轟木 秀一	要予約
整形外科 【内線203】	清水 敦 坂本 昭夫 口石 倫太郎	〔手術日〕	清水 敦 坂本 昭夫 口石 倫太郎	〔手術日〕	清水 敦 坂本 昭夫 口石 倫太郎	※手術日の急患・紹介に 関しては事前にご連絡を お願いします。
小児科 【内線209】	尾上 泰弘 安永 由紀恵	安永 由紀恵 綿貫 圭介 ☆渡辺 恭子 ☆緒方 怜奈	柴田 裕介 安永 由紀恵 ◎山口賢一郎	尾上 泰弘 安永 由紀恵 ☆緒方(初診)	緒方又は柴田 尾上 泰弘 ◎山口賢一郎 △綿貫 圭介 ☆渡辺 恭子 ☆安永 由紀恵	◎循環器外来 △アレルギー外来 ☆神経外来(予約制) 特殊外来の予約は小児 科外来へ15時まで予約
小児外科 【内線209】	当番医 〔手術日〕	生野 猛 生野 久美子 橋本 佳子	当番医 〔手術日〕	生野 久美子 〔手術日〕	橋本 佳子	月・水は新患のみ (予約不可)
産科・婦人科 【内線204】	牟田 満 川上 浩介 西村 和朗 長尾 弘子 ※大藏 尚文 ※ウロブレスキ順子	(院内応援医師) ※熊谷 晴介 〔手術日〕	大藏 尚文 川上 浩介 吉満 輝行 村上 緑 ※川越 秀洋	大藏 尚文 川越 秀洋 那須 洋紀 ※牟田 満 ※熊谷 晴介	(院内応援医師) ※ウロブレスキ順子 〔手術日〕	※印 新患担当 新患は紹介患者様のみ
泌尿器科 【内線213】	〔休診〕	◆	〔休診〕	〔休診〕	◆	◆他院より派遣医師
皮膚科 【内線214】	北 和代	北 和代	北 和代	北 和代	北 和代	
眼科 【内線212】	川原 周平 鍋島 崇寛	松本 時子 (九州大学派遣) 〔手術日〕	村山 美和 (九州大学派遣) 鍋島 崇寛	鍋島 崇寛 〔手術日〕	川原 周平 鍋島 崇寛	火・木は 10:30で受付終了
精神科 【内線215】	中島 康裕 阪口 喜寛 武 ※高橋 潤一	中島 康裕 高橋 潤一 品川 誠 ※執行・比嘉	中島 康裕 執行 正倫 品川 誠 ※阪口 喜寛	中島 康裕 執行 正倫 阪口 喜寛 高橋 潤一 ※品川 誠	執行 正倫 比嘉 喜寛 逸人 ※中島・松尾	※印 新患及びもの忘れ 外来担当 もの忘れ外来は精神科 外来へ15時までに要予約
放射線科 【内線231】	塩崎 宏	塩崎 宏	三浦 亘智	塩崎 宏	三浦 亘智	
耳鼻咽喉科 【内線206】	〔休診〕	◆	〔休診〕	〔休診〕	◆	◇九大より派遣医師
消化管内視鏡 【内線379】	山縣 元彦 末永 文彦	山口 裕也 寺松 克人 山下 正月	山縣 元彦 末永 文彦	山口 裕也 寺松 克人	山縣 元彦 末永 文彦	

★受付時間/午前8:30~11:00 (急患については、この限りではありません)

★学会などにより担当医が変更になることがあります。



2014年/秋号

発行/小倉医療センター地域医療連携室  
発行日/2014年10月

独立行政法人国立病院機構 小倉医療センター

〒802-8533 北九州市小倉南区春ヶ丘 10-1

TEL 093-921-8881 FAX 093-921-8892 (地域医療連携室直通)

HP <http://www.kokura-hp.jp/>  
renkei@kokura2.hosp.go.jp